

地域課題の解決に向けた持続可能な住宅地モデル事業

始²⁰¹⁵動



少子高齢化が進み、防災・減災・環境/エネルギーへの配慮が問われる今日、
わたしたちはこれからの生活をより良くしていくためのターニングポイントに立たされています。
10年先の安心、20年先の環境、30年先の横浜を考えていかなければなりません。
ずっと住み続けたいと想うまち「横浜」。
そんな豊かな未来へのキボウを、わたしたちは思い描いてゆきます。



01. INTRODUCTION

居住者や地域住民は、併設する施設から介護、医療、福祉、生活サービスを受けられ、将来にわたり安心な生活が送られるよう健康をサポートできる仕組みを創り、脱温暖化を見据えて環境に配慮し、高齢者・子育て世代も安心して暮らせる住宅を中心とした計画とします。

そして、地域交流スペース等において、地域に開かれた様々なイベントを企画運営し、周辺地域に防災拠点の後方支援する役割を担う安心・生活サポート拠点を整備します。

